

【区企画事業に対するご意見等】

提案部会	整理番号	区役所企画事業に対するご意見	担当課
第1部会	1	【事業全体についてのご意見】 ・各事業の取り組み、有効性、成果をもっとアピールする必要がある。 手法としては、西区民への広い周知から西区だよりが有効と思われる。	-
	2	【西区安心安全な地域づくり推進】 ・通学路の安全確保と環境美化を合わせて取り組んでみてはどうか。 ・避難訓練は、低い土地である西区の特性を考慮し、水害を想定したものや、地域ごとの実態に合わせた方法での実施を検討してはどうか。	総務課
	3	【きれいなまちづくりサポート】 ・西区一斉クリーンデーは区民がごみ拾いを行いまちがきれいになるよい取り組みである。 しかし、一方で年に1回の実施ではきれいにしきれない地域もあるので、春と秋など複数回の実施を検討してはどうか。 ・西区一斉クリーンデーを任意の参加を呼びかけるものから、参加を強制する仕組みに切り替えてはどうか。 ・河川など、地域のごみ拾いを継続的に行うことに繋がる仕組み作りを行ってはどうか。	区民生活課
	4	【他部会の事業に関する意見】 西区を堪能 まち歩き、観光ツアー ・各地それぞれにまち歩きマップやボランティアガイドが作成されているが、西区全体を網羅した観光マップの作成を望む。そのための研究会を立ち上げてはどうか。	農政商工課
第2部会	5	【事業全体】 ・少ない財源の中で、費用対効果がより厳しく、市民から求められると感じている【事業ありき】ではなく、より市民の現状に寄り添って、さらに効果のある内容を考 えていくことが求められるのではないかな。	-
	6	【西区健活チャレンジ】 ・地域健康応援隊育成講座終了者の活躍の場として、地域の茶の間へのPRを行ってはどうか。	健康福祉課
	7	【西区の子育て応援】 ・NPプログラム(完璧な親なんていない! ~Nobody's Perfect~)の参加者募集の方法について、現在は自由募集(年齢制限等なし)となっているが、問題を抱 えている親が参加できるような募集方法を考えてはどうか。 ・今までは行えなかったが、感染症対策をしながら子育て支援者交流会を実施してほしい。	
	8	【西区NEWスタイルウォーキング】 ・フォーカス・グループインタビューを取り入れ、地域課題と併せてウォーキングに取り組むことで、相乗的な効果が期待できるのではないかな。	
	9	【出勤! 西区地域盛り上げ隊(中学生みらいデザイン編)】 ・ワークショップを開催する学校との事前準備において、もう少し時間を設けてもらえるより充実した内容となるのではないかな。	地域課

第3部会	10	【西区特産農産物 魅力発信・ブランディング】 ・ゆうやけこぼり、佐潟、きらら公園などの各種公園など、様々顧客層の異なる場所で販売を企画してほしい。	農政商工課
	11	【「食×農」体験プログラム実施】 ・参加を希望しても定員に達してしまい参加できなくなる場合も想定されるので、参加希望者がみんな参加できる仕組みづくり行えないか。 ・子供に関心をもってもらうため、スーパーや直売所などを活用してはどうか。 ・人気があると思うので、例えば試しにコンベンション協会でツアーを組んでみて最終的には民間各社で様々な取り組みを行うなど(運営:民間、後援:西区)の方が、より経済効果及び魅力度の高いツアーになるのではないかと思います。	農政商工課
	12	【西区「農地と保安林」機能維持・向上】 ・子供へ保安林機能の教育を行う必要性があるのではないかと。 ・保安林整備を事業化できないか。 ・ボランティアの高齢化、人口減少の中で現状の方法での持続的な整備は難しいと思うので、(運営:民間、後援:行政)という分担にて、整備からキャンプ場やアウトドア体験場所への有効活用への転換をご検討頂きたい。	農政商工課
	13	【西区を堪能 まち歩き・観光ツアー】 ・子供へも周知など、広い世代を巻き込んだ事業展開が必要なのではないか。	農政商工課
	14	【西区のくらし・魅力発信】 ・大学生だけでなく、小学生、中学生から行ってほしい。	地域課
	15	【他部会の事業に関する意見】 西区NEWスタイルウォーキング ・遊歩道だけではなく、西区内の魅力ある場所を織り交ぜてはどうか。	健康福祉課

【自治協議会提案事業に対するご意見等】

提案部会	整理番号	自治協議会提案事業に対するご意見
第1部会	1	【地域課題解決に向けた提案募集事業】 ・分野を決めず広く住民のために有効に生かせる事業として募集し、委員で採択を検討するのも良いのではないかと。
第3部会	2	【全体に関する意見】 ・自治協議会提案事業は区役所企画事業と違い、1年という短い期間で一定の成果を出すことが要求される。そのため、「1年で何ができるのか・・・」といったような意識の低下につながっているのではないかと。とりわけ提案募集事業では、応募団体と自治協議会の認識のズレが問題視されるが、まずは委員間、そして事務局と委員とで問題意識を共有し、同じ目線で活動を進めていくことが重要なのではないだろうか。
	3	【地域課題解決に向けた提案募集事業】 ・子育て世代と地域活動をつなぐ際に、子供の成長段階に合わせて異なるつながりや情報が必要に感じる。小学生以降になると様々な生活スタイルがあり全員に合致するものは作りづらいと思う。自分に合った形で地域活動に気楽に関われる団体、サークル、イベントなどがあれば良いのではないかと。場合によっては、自治体の枠を超えた行き来があっても良いと思う。 ・他団体に募集して委託するのは、区役所企画事業でも行えるように思うので、自治協議会提案事業については、自治協議会委員自身で直接取り組む活動の方が、良いと思う。